

004

桜島近辺の小学校による 火山噴火に備えた 地域連携型防災教育の推進

取組主体

鹿児島県鹿児島市立東桜島小学校

教職員数

想定災害

実施地域

12人

火山噴火

鹿児島県鹿児島市東桜島町

火山と共に生きる地域である桜島で、小学校における独自の防災教育活動や防災訓練を通じて防災意識の向上に取り組んでいる。

1 取組の概要

- ・ 1914年に20世紀における国内で最大級の噴火（大正噴火）が起きた桜島の南西部に位置し、火山活動を続ける南岳の火口からわずか3.7キロメートルの距離に位置する東桜島小学校は、地域に伝わる火山噴火に備えた教訓を、学年に応じて教育課程に取り入れ、地域特性を生かした教育活動を推進している。
- ・ 同校では2000年度から総合的な学習の時間を中心に、防災教育や避難訓練の内容充実に取り組んでいる。学年に応じた段階的な学習を進めており、3・4年生は「桜島の魅力を知ろう」をテーマに設定し、桜島や錦江湾の豊かな自然や産業、特産物について調べるとともに、火山活動による恩恵について学ぶ。この学習の一環として、学校近隣の史跡訪問や桜島一周見学を実施している。5・6年生は「桜島の魅力を発信しよう」をテーマに、災害の歴史や危険箇所の把握、避難方法の確認、防災上の工夫、観光資源の調査などに取り組んでいる。また、桜島爆発記念碑の碑文暗記と発表、桜島半周遠行なども行っている。
- ・ さらに、他地域との連携も積極的に行っており、国立大学法人信州大学教育学部防災教育研究センターと連携し、長野県内の4つの小学校と同校の教室をオンラインでつなぎ、5・6年生が防災学習成果発表会をオンライン中継にて実施している。
- ・ 防災教育を通じて、児童は火山噴火に限らず、土砂災害や地震といった自然災害全般への意識を高めているが、さらに、災害時における自助力を高めるために災害を想定した各種訓練にも別途取り組んでいる。毎週月曜日に集落ごとの縦割りグループで下校する災害時対応のための集団下校訓練に加え、年2回の噴火避難訓練を実施するほか、島全体で行われる桜島火山爆発総合防災訓練にも参加するなど、実践的な避難行動を体験している。



校舎と桜島



桜島一周見学



市の防災訓練への参加



防災学習成果発表会



危険箇所調べ

2 取組のきっかけと想い

- ・1914年の大正噴火から110年が経過し、桜島は再び噴火への警戒を要する時期を迎えている。そのため、児童たちは登下校時にヘルメットを着用し、避難訓練にも真剣に参加していたが、先人の苦労や非常時に備えた教訓を学びながら、その防災意識をさらに高めてほしいとの想いから、総合学習における防災教育を開始した。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

地域に根ざした総合的な学習

- ・学年ごとにテーマを設定し、桜島の自然、歴史、防災について深く学ぶ機会を提供している。高齢化が進行し、地域の担い手が少なくなる中で、従来のような地域連携が困難になりつつあるが、公民館に場所を借りて、そこで地域の高齢者の方から、噴火に関して語り継がれてきたエピソードを話していただくなどの協力を得ながら、学習の充実を目指している。
- ・長野県の小学校とのオンライン交流の時間も設けて、地図学習アプリ「フィールドオン」を活用した防災学習成果発表会を実施し、地域を越えた防災教育を展開している。

実践的な避難訓練と日常の備え

- ・防災教育に加えて、毎週の集団下校訓練や年2回の避難訓練、全島総合防災訓練への参加など、実際の災害を想定した実践的な訓練を重ねている。児童たちはどの訓練においても真剣に取り組み、安全意識を高めている。

4 取組の効果

児童の防災意識と危機対応力の向上

- ・継続的な防災教育を通じて、児童一人ひとりの安全に対する意識が向上していると感じる。特に、避難訓練や防災学習で得た知識と経験により、災害発生時に取るべき具体的な行動が身に付いている。さらに、様々な状況を想定した実践的な訓練により、非常時においても冷静な判断と適切な対応ができる危機対応力が培われている。

学校外との連携による地域交流や視野の広がり

- ・地域の史跡を調べる活動や避難訓練を通じて、地域の方々との交流が深まり、地域とのつながりが強化されている。また、他地域の学校との交流を通して地域ごとに異なる防災対策を知ることによって、防災に関する児童の視野が広がっている。

周囲の声

- ・「桜島の学習を通して、子どもたちは噴火の怖さだけでなく、その恩恵についても学び、桜島の魅力を広く発信してくれている。桜島の将来を担う人材として、これからの成長が楽しみです。」(防災教育に関わった地域住民)
- ・「全校児童が一緒になって取り組む防災訓練を通して、上学年の子どもが下学年の子どもたちをお世話しようとする態度やお互いを思いやろうとする気持ちが育まれているように感じる」(保護者)
- ・「東日本や能登の震災を目の当たりにして、改めて子どもの頃から防災教育を重ね、防災に対する意識を高めることの大切さを実感することができた。東桜島小学校の子どもたちは、自然災害が起きた際に率先して行動できるのではないだろうか」(防災教育に関わった地域住民)

担当者の声

- ・東桜島小学校は、令和8年3月に廃校が決まっており、147年の歴史に幕を下ろすこととなりますが、これまで培ってきた防災教育を東桜島内の8つの小中学校が統合する新設校へ引き継ぎたいと思います。桜島ならではの特色ある防災教育を通じて、子どもたちが命の大切さを学び、地域と共に成長していくことを願っています。

問合せ先	動画	サイト URL
鹿児島県鹿児島市立東桜島小学校 電話番号：099-221-2051 FAX：099-221-2085 URL：https://www.keinet.com/hisakus/	—	